



学校だより 7月号

令和6年6月28日



横浜市立市場小学校 Tel(581)2107

FAX(581)9387

けやき分校 Tel(580)0105

FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

夏休みの仕掛け

校長 重田 英明

例年に比べ、遅い梅雨入りとなりました。先日はお休みのところ、土曜参観にお越しいただき、ありがとうございました。学校では、生活科の学習として2年生の子どもたちが鉢に植えたナスやミニトマト、枝豆などの夏野菜が少しずつ実ってきました。また、水泳学習もほぼ予定通りに実施することができ、子どもたちも楽しく学んでいるようです。

さて、早いもので、7月20日(土)から8月26日(月)までの38日間は、「夏休み」となります。お子様にとって「夏休み」とは、どのような意義があるものなのでしょうか。「これまで以上に学力を伸ばす機会」「趣味を充実させる機会」「家族との絆を強める機会」「多くの友だちをつくらったり、今までの友だちとの関係を深めたりする機会」など、様々だと思います。そこで、子どもたち一人ひとりが様々な思い・願いをもちながらも、身近な大人が次の3つの仕掛けをすることによって、これまでとはひと味違った夏休みを過ごすことができるのではないかと思います、ご紹介させていただきます。

1 お子様が自分を好きになる仕掛け

子どもたちが健全に成長していくためには、自己肯定感や自己有用感がとても大切になってきます。「あなたの素晴らしいところは～だね。すごいね。」「あなたの～は、みんなを元気にしてくれるね。」などの言葉を、身近な大人が意識して投げかけてみてはいかがでしょうか。

2 家族の一員として力を発揮することができる仕掛け

「夏休みには、家のお手伝いを進んでやりましょう。」と言われ続けてきたと思います。その時々単発的なものだけでなく、無理なく継続的にできるお手伝いを一つ、お子様と相談して決めてみてはいかがでしょうか。その際、「次もやってみよう。」と思えるような「ねぎらいの言葉がけ」が大切だと思います。特に、高学年のお子様に対しては、「お手伝い」ととどまらず、「家族の一員としての役割」を意識させることも必要です。

3 地域の一員であることを意識させる仕掛け

夏休みには、地域を意識することができるものが多くあると思います。イベントだけではありません。ゴミ集積所の様子や町内会・自治会の掲示板など、ふだん見過ごしてしまうことも目にするゆとりがあると思います。ご家族の方がお子様と一緒に様々な発見をすることで、お子様も「自分も地域の一員だ」ということを、これまで以上に意識すると考えます。

交通事故には十分気を付け、夏休み明けにお子様が無事に登校してくる姿を楽しみにしております。どうぞ、よろしく願いいたします。

